

宮崎県拠点の
Webサイトは
こちらから

宮崎県拠点だより

事例紹介
ファイル #7

持続可能な農業に向かって!!

花に魅せられて新規就農

高千穂町の佐々木有子さんは、ラナンキュラスを栽培して1年目の新規就農者。

大学卒業後は、大阪市でブライダル用のブーケ作りや生花店で働くなど、ずっと花に携わり、いずれは地元宮崎で花に関わる仕事がしたいと思い続けていた。

コロナ禍で一旦は諦めたが、大阪市で開催された就農相談会で「高千穂ファーマーズスクール」が開校することを知り、入校して就農することを決意。

「高千穂ファーマーズスクール」の1期生として、令和4年4月から令和6年3月までの2年間、ラナンキュラス生産農家で栽培方法を学び、農業経営や座学の研修を受講した。



高千穂町で新規就農した佐々木有子さん

研修前から、栽培農家の集まりに積極的に参加して顔見知りを作るように心掛けた。特に失敗談には耳を傾け、資材等の調達先から調達方法、ほ場・施設・機械・住居等に至るまで多くの話を聞いた。

国の就農準備資金や高千穂町の研修支援制度を活用して準備し、令和6年4月から、4.4aでラナンキュラス7品種、1,400個の球根を定植。

施設整備では、経営発展支援事業を活用してハウス2棟を新設。また、県事業を活用しボイラーを導入した。

丹精込めて育てたラナンキュラスは、12月末から3月末までJ Aが集荷し、愛知県を含む関西を中心に出荷。大阪の「株式会社なにわ花いちば」からは輸出もされる。

5年後の安定経営と環境にやさしい農業を目指しているが、農業は一人ではできず近隣の相談できる人を作ることが大切であると感じ、地区内の各種行事や高千穂神楽の舞などへ積極的に参加している。



ラナンキュラスの花言葉は「晴れやかな魅力」「華やかな魅力」など



● 宮崎県拠点では、「高千穂ファーマーズスクール」をはじめ、宮崎県内の新規就農者向けトレーニングセンターをWEBで紹介しています。



拠点のうごき

2月17日 スマート農業機械を導入している事業者(都城市)と意見交換

加工・業務用野菜の事業者である有限会社ファームヤマト(都城市)は、主に65haの畑に作付している大根の加工・販売を行っています。

大根収穫機や直進アシストトラクター・防除用ドローンを導入することで、農作業員の負担を軽減し、雇用継続を図っています。



大根を収穫するためのスマート農業機械



防除用ドローン



拠点職員による出前講座のようす



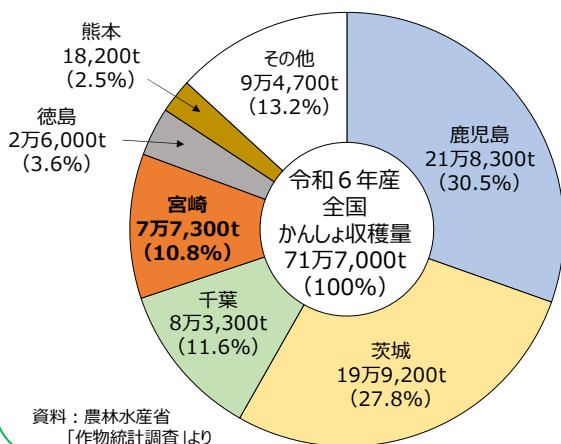
2月4日 宮崎県立生目台(いきめだい)中学校で宮崎市政出前講座

みどりの食料システム戦略の推進のため、宮崎市と連携し、宮崎市政出前講座に申し込みのあった宮崎県立生目台中学校1年生9人を対象に、「地球にやさしい農林水産物を考えよう」と題した出前講座を行いました。

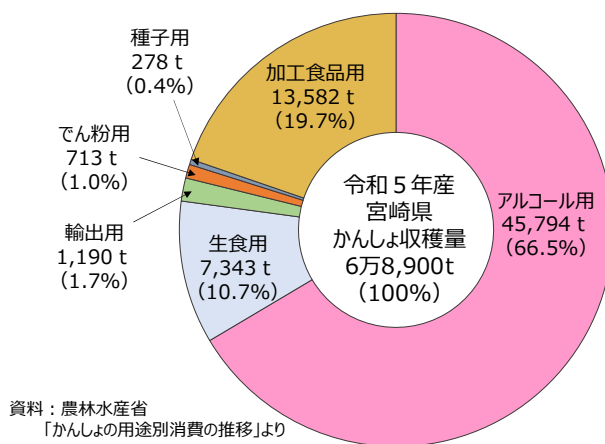
データで見る宮崎の農業！ (かんしょ)

- 農林水産省は、令和7年2月4日に令和6年産かんしょの収穫量を公表しました。宮崎県におけるかんしょ収穫量は7万7,300tで、全国の約1割を占めています。
- 令和5年産かんしょの宮崎県の収穫量は6万8,900tであり、仕向状況は、アルコール(焼酎)用66.5%、加工食品用19.7%、生食用10.7%、輸出用1.7%、でん粉用1.0%、種子用0.4%となっており、アルコール(焼酎)用をはじめとする加工原料用が大きな割合を占めています。

令和6年産の都道府県別収穫量



令和5年産の仕向状況宮崎県



●本紙の記載内容や農政についてのご質問、ご意見等お気軽にお問い合わせ下さい。

●宮崎県拠点 地方参事官室
TEL 0985-24-2365
〒880-0801 宮崎市老松2丁目3-17

編集後記

3月の桃の節句には、我が家でも毎年ひな人形を出しています。人形の持ち主は不在ですが、遠くから健康を願い、節分の後の年中行事として、変わらず飾っています。

桜の開花予想も聞かれるようになり、寒い季節から花々に癒される暖かい季節への移り変わりが待ち遠しい今日この頃です。(m/)